

<杵築市>令和7年度 学校評価の4点セット（自己評価・学校関係者評価）

学校名

杵築市立大内小学校

1学期

学力状況			学習・指導の状況			いじめ・不登校の状況			体力の状況		
各種調査結果	R6年度学力定着状況の結果：12月（全国平均回答率を上回った観点）	4年 国語 4/5 算数 5/5 理科 5/5 5年 国語 3/5 算数 2/5 理科 2/5 6年 国語 3/5 算数 2/5 理科 5/5	○校内研修で、筋道を立てて考えさせるために、学年部毎に手立てを考え、「達成した姿」を明文化した。 ○筋道を立てて手考えるためのツールとして「考えの言葉」を表にして掲示し指導に役立てた。 【考えの言葉】について、昨年度末には児童も意識して取り組んでおり「理由」「比べる」などの学年も達成した。	R4 認知件数 解消率% 不登校 内新規 復帰率%	R5 11 64% 2 0 0%	R6 16 75% 5 3 50%	【生活指導の喫緊の課題】 自他（特に自分）のよさや頑張りに気づいていない児童が複数おり、全体的に自己肯定感が低い。	運動愛好度 男子 女子	R6全国値以上種目数 25/48（小）昨年27 41/48（小）（昨年38）		
【テストの喫緊の課題】 ・叙述を基に読み取る・資料から大事な語・文を読み取る ・既習事項を活用し、問題を解決する・筋道を立てて考える							【体力/運動の喫緊の課題】 握力・50m走の項目が、全国平均に達していない児童が多い。				

学校の教育目標	育成を目指す資質・能力	重点目標：めざす児童生徒像			達成指標	資質能力	担当	重点的取組	取組指標（誰が・何を・頻度） 取組状況の確認（根拠）	取組評価	達成状況の確認		考察・改善	
		知識技能	思考判断表現	学び人間性							根拠	評価		
大いに心を育む子の育成 ふるさとを愛し、自ら気づき考え、めあてに向かってねばり強く挑戦する うやしくかしこくたくましく	知・徳・体のバランスがとれた基礎・基本の習得	基礎的な力を習得する子 自分の考えを伝える子 何事にも意欲的に取り組み粘り強く挑戦する子の育成 自ら考え行動する子の育成 筋道を立てて考え、伝える力	基礎的な力を習得する子 自分の考えを伝える子 何事にも意欲的に取り組み粘り強く挑戦する子の育成 自ら考え行動する子の育成 筋道を立てて考え、伝える力	見通しをもつて取り組む子 自他を大切にする子 協力して取り組む子 自ら考えて取り組む子 ねばめりあてよく向かって挑戦かつする子	児童アンケートで「自分の考えを理由つけて言えた」の肯定的回答を80%以上にする。（昨年度末肯定的評価86%） 教職員アンケートで「児童は自分の考えを理由つけて言えた」のA評価を40%以上にする。（昨年度末A評価42%） 児童アンケート『自分や友だちのよさやがんばりを見つけることができる』の肯定的回答76%以上にする。（昨年度末肯定的評価76%） 教職員アンケート『児童は「自分や友だちのよさやがんばりを見つけることができる』の肯定的解答を85%以上にする。（昨年度末肯定的評価85%） 児童アンケート『体育の授業や体力アップタイムで苦手なこともあきらめずに挑戦（チャレンジ）した』の肯定的回答を80%以上にする（昨年度末肯定的評価84.3%） 教職員アンケート『教師は児童の頑張る過程を褒めたり、認めたりする声かけができた』の肯定的回答を83%以上にする。（昨年度末肯定的評価100%）	思考・判断・表現 (知)	学習部 (知)	授業改善テーマ 根拠をもとに自分の考えを表現できる子どもの育成 その他 学力向上の取組	取組内容 自分の考えを伝え合う場の設定 学年で習得すべき必要な用語や定義を身につけさせる 支援の必要な児童への支援の工夫	○学習部は、学期に3回以上授業改善テーマに沿った提案・改善策を提起し、進捗状況の把握をする。 (根拠：職員会議録で確認) ○担任は1日の授業の中で2回以上『話し合いの場』を設定する。 (根拠：教職員アンケート肯定的回答85%以上) ○担任は毎時間の授業で児童に《必要な言葉》を使って表現させる。 (根拠：教職員アンケート肯定的回答85%以上)				
								人間関係づくりプログラムの充実 縦割班活動・集会（全体・学年部）の充実	○生活指導部は、学期に3回以上人間関係づくりプログラムについての提案・改善策を提起し、進捗状況の把握をする。 (根拠：職員会議録で確認) ○担任は、人間関係づくりプログラム等の時間に《自他のよさや頑張りを認め合う取組》を月に2回以上行う。 (根拠：教職員アンケート肯定的回答70%以上)					
								縦割班活動・集会（全体・学年部）の充実	○教職員が縦割班活動や集会活動の中で友だちのよさやがんばりを認め合う場（話し合いや振り返りの会など）を週に1回以上設定する。 (根拠：教職員アンケート肯定的回答70%以上)					
								一校一実践 めあてを意識させた体育授業の実践	○保育部は《体力アップカード》の提案・改善策を提起し、進捗状況の把握を学期に1回以上行う。 (根拠：職員会議録で確認) ○体育主任は月に1回、体力アップタイムを開催する。 (根拠：実施回数で確認) ○担任は単元毎に《体力アップカード》を2回以上活用し、めあてを意識させながら指導を行う。 (根拠：教職員アンケート肯定的回答83%以上)					
重点的取組					取組指標			評価	考察・改善					
家庭			スマート・タブレット等の使い方に留意して、望ましい学習・生活習慣を確立する。			教職員と保護者会が協力して、スマート・タブレット等の使用のきまりを話し合い、それらの実践を記録する《頑張りカードの取組》を学期に1回以上行う。 (根拠：保護者・児童アンケート)								
地域 (学校運営協議会)	環境安全推進部	登校時の安全指導と声かけ運動			学校運営協議会委員・保護者・管理職が登校時の安全指導と声かけ運動を行う (根拠：活動記録)									
	学習支援部	地域交流計画の実施と読み聞かせ・ゲストティーチャーなどの学習支援			学校運営協議会委員・住民自治協のメンバーを中心に学期に4回以上学習支援を行う。 (根拠：活動記録)									

※ 取組状況評価 (S : 100%超 A : 80~100% B : 80%未満)

※ 達成状況評価 (SS→S SA→A AA→A SB→A AB→B BB→B)